

放射線診断科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Flat panel detector (FPD)搭載IVRシステム導入後の肝細胞癌に対する超選択的肝動脈化学塞栓療法の治療成績の検討

* “Flat panel detector (FPD)搭載 IVR システム”

- Flat Panel Detector（フラットパネルディテクタ）とは、被写体を透過したエックス線を平面検出器で受け取り、デジタル信号に変換し画像を得る装置です。血管造影に必要な高精細でコントラストの高い動画を得ることができるため、従来のシステムにかわって広く用いられるようになっていきます。FPDは画像解像度が格段に高く、病変解析機能も向上するとともに、X線利用効率のアップにより患者さんの被曝量も大幅に低減されます。このFPDを搭載した血管造影装置とCTを併設した高度な機器がFPDを搭載IVRシステムです。

[研究機関] 北海道大学病院放射線診断科

[研究責任者] 阿保 大介 （放射線部・助教）

[研究の目的] 今回の研究の目的は、過去の診療情報を基にFlat panel detector (FPD)搭載IVRシステム導入後の肝細胞癌に対する超選択的肝動脈化学塞栓療法の症例を調査し、その治療成績を検討することです。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成24年7月30日から平成26年7月31日の間に内臓動脈瘤に対して当科にて肝動脈化学塞栓療法を受けた方

●利用するカルテ情報・調査項目

年齢、性別、臨床診断、術式、検査所見（血液検査）、画像所見（血管造影、CT、MRI、超音波検査）、肝動脈化学塞栓療法の手技、手技後の結果です。これらの結果をもとに、治療成功率、術後合併症、転帰等を検討します。

[個人情報取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院放射線診断科

電話 011-716-1161

担当医師 阿保 大介

FAX 011-706-7876